

A6683 営団3000系 全車小窓編成 8両セット



予価：¥44,000 (本体価格 ¥40,000)

ブッケース入 (カートン入数：12)

商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

対象年齢14歳以上

実車紹介

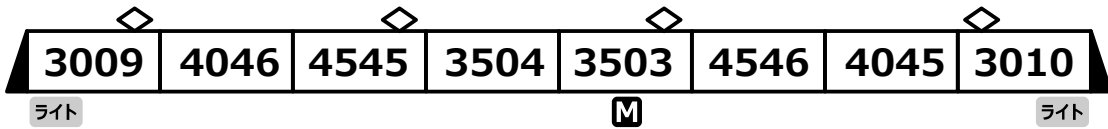
3000系は1961年の地下鉄日比谷線開業に伴い登場しました。東武線・東急線との直通運転に対応した規格「2号線車両規格」に基づいた18m級3扉の車体で、営団(現・東京メトロ)として初のステンレス車体で、前頭部は丸みをおびた形状でのちにファンから「マッコウクジラ」と呼ばれ親しまれました。開業当初は2両編成でしたが、輸送力増強のため4両編成、6両編成となり1971年以降は8両編成となりました。製造期間が長期にわたるため前面方向幕の位置、側面ドア窓の大きさ、台車、ベンチレーターなどにバリエーションがありました。

1980年代以降、初期に製造された一部の車両を対象に修繕工事が行われ側面ドアが大窓タイプから小窓タイプに交換され、ベンチレーターが八角形から角型に交換された車両がありました。また、修繕工事とは別で台車がFS510へ交換された車両がありました。

後継となる03系の導入により1989年より廃車が開始され、1994年にさよなら運転を行い全車が引退しました。一部車両は他社へ譲渡されましたが既に引退しています。

東京地下鉄株式会社商品化許諾済

編成図



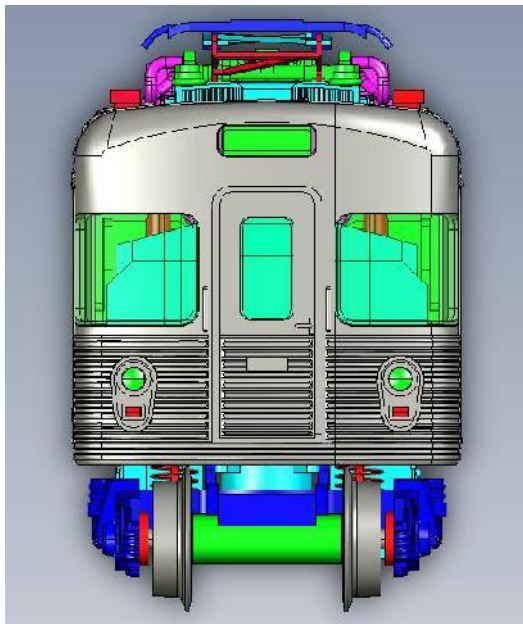
ヘッドライト
テールライト
前面表示器
点灯

商品概要

- マイクロエース私鉄シリーズのさらなる充実
- 全車の側面ドアが小窓タイプに交換された8両貫通編成で1985年～1990年頃の姿がモチーフ
- A6691(2012年10月出荷)を基に、時代設定をあらためたバリエーション製品
- ベンチレーターは全車角型を搭載
- 3500形は4500形の改造車でFS510に交換された後の姿
- 東武・東急乗り入れ対応編成、各先頭車にアンテナが2本設置された姿

※部品共用のため、一部実車と異なる部分があります

※図は開発中の図面を基にしています。製品とは異なります



- 前面方向幕の位置が高い初期型を再現
- 前面窓の位置・寸法・ライトケースの形状を見直し



画像の加工・複製・二次使用を禁止します

Photo: 佐藤 利生 ※画像は実車のイメージです。製品とは異なります

付属品

シール

オプション

室内灯 幅狭室内灯 (G0005/G0006/G0007/G0008)

カプラー

マイクロカプラー 自連・グレー (F0004)



株式会社 マイクロエース TEL：048-444-2944 FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承承ねます
本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです